

平成28年2月17日  
国土交通省福島河川国道事務所  
福島県  
東日本高速道路(株)東北支社福島管理事務所

-----

東北中央自動車道福島JCT～<sup>ふくしまおおざそう</sup>福島大笹生IC間  
「秋の行楽シーズン前までに」**開通**します  
～**観光・農業の振興等に貢献します**～

-----

国土交通省、福島県、東日本高速道路(株)が事業を進めて参りました東北中央自動車道のうち、福島JCT(ジャンクション)から<sup>ふくしまおおざそう</sup>福島大笹生IC(インターチェンジ)までの延長1.4Kmが「秋の行楽シーズン前までに」開通する見込みとなりましたのでお知らせ致します。  
あわせて、JCT、IC等の名称が決定しましたので、お知らせ致します。

今回の開通によって、次の効果等が期待されます。

- 効果1: 温泉地や観光果樹園へのアクセス向上により、観光・農業振興を支援
- 効果2: 福島西部地区工業団地へのアクセス向上により、企業活動を支援
- 効果3: 県内有数のスポーツ施設へのアクセス向上により、スポーツ交流拡大を支援

1. 開通区間

東北中央自動車道 福島JCT～<sup>ふくしまおおざそう</sup>福島大笹生IC(延長1.4Km)

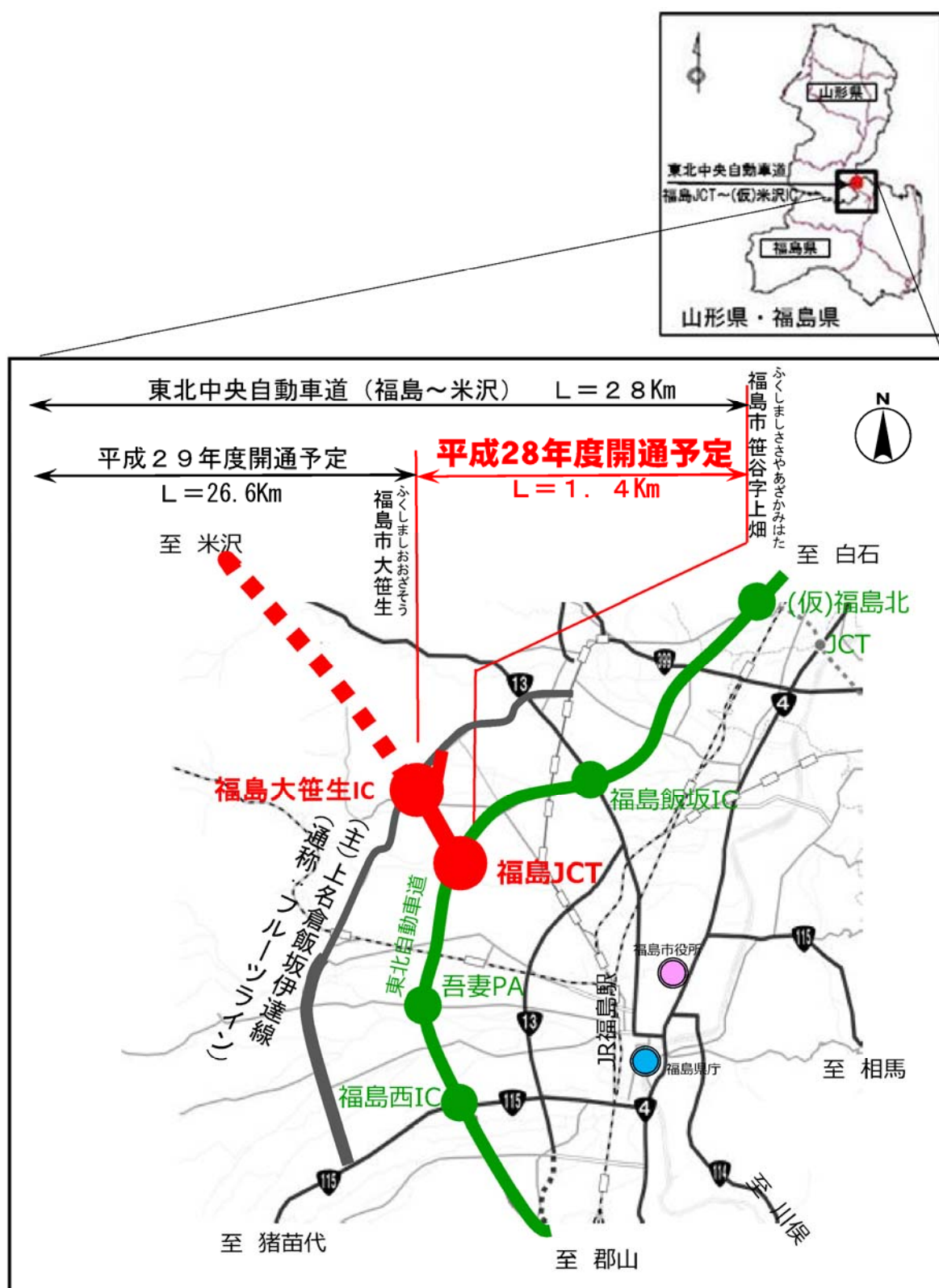
2. 路線名及びJCT、ICの正式名称

路線名 東北中央自動車道(通称名:東北中央道)  
(仮称)福島JCT → 福島JCT  
(仮称)大笹生IC → <sup>ふくしまおおざそう</sup>福島大笹生IC

3. その他

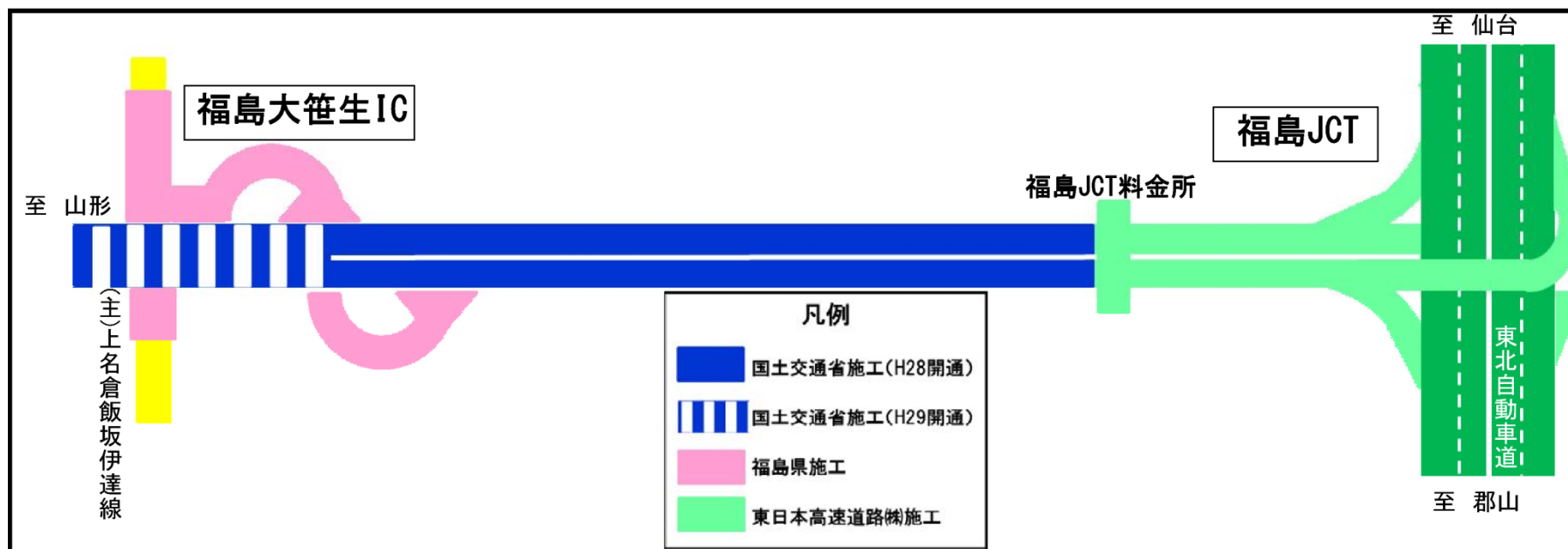
開通日、開通式典等の日時については決定次第、お知らせ致します。

東北中央自動車道(福島～米沢)概要図

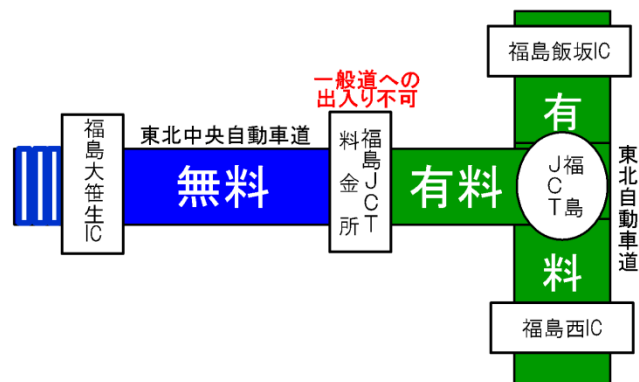


凡 例	
<span style="color: red;">——</span>	事業中 (H28開通予定)
<span style="color: red;">----</span>	事業中 (H29開通予定)

# 東北中央自動車道(福島JCT～福島大笹生IC)施工分担



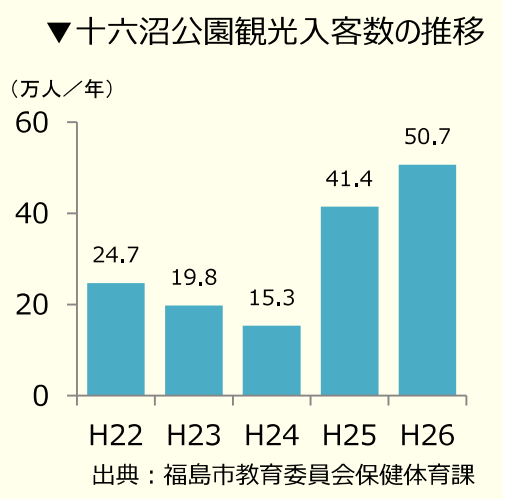
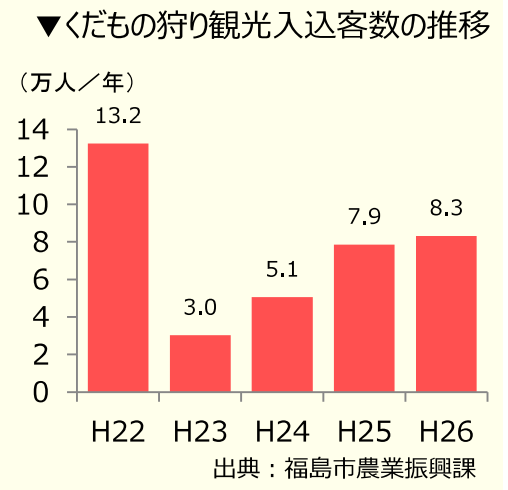
## 【参考】東北中央自動車道（福島JCT～福島大笹生IC）料金区分



※福島JCT料金所では、一般道路への出入りができませんので、福島JCT料金所←→福島大笹生IC間の利用はできません。  
 ※福島大笹生ICから入って福島JCT料金所を経由して東北道方面へ向かった場合は有料となります。

# 福島の魅力あふれる観光地へのアクセスが改善し、観光活性化に寄与（観光振興）

- 福島市西部には、「くだもの狩り」、「飯坂温泉」など福島市の魅力あふれる観光地が集積
- 震災後に減少した観光入込客数は近年は回復の傾向、福島大笹生 IC の開通で更なる観光活性化に期待





- [illegible]

## 東北中央道大笹生IC周辺

**工業団地の整備予定地**

市が地権者を示したは「C」の通り、広さ一〇十五年分の工業用地が必要となるとしている。企業誘致数も並して決まっている。

道駅は道内フルツラン（県道土呂合、飯坂、伊達郷、沿い）を予定している。整備予定時期未定。

市内の工業団地は十一団地（二百三〇あるが、東京電産、福島第一原子力発電所、近郊の一般居住宅地など）で分割可能は、区間の約三分の一を必要とする。

**大笹生IC周辺**

福島の東北中央自動車道大笹生ジャンクション（J）～飯坂IC周辺に整備する「工業団地の概要を発表した。大笹生ICの周囲にあつた田舎や果樹園に、工業団地と道の駅を一体的に整備する方針。市は、月から地権者に用地提供や調査調査への協力を求める。十四日までに隣接地権者説明会が市役所内で行

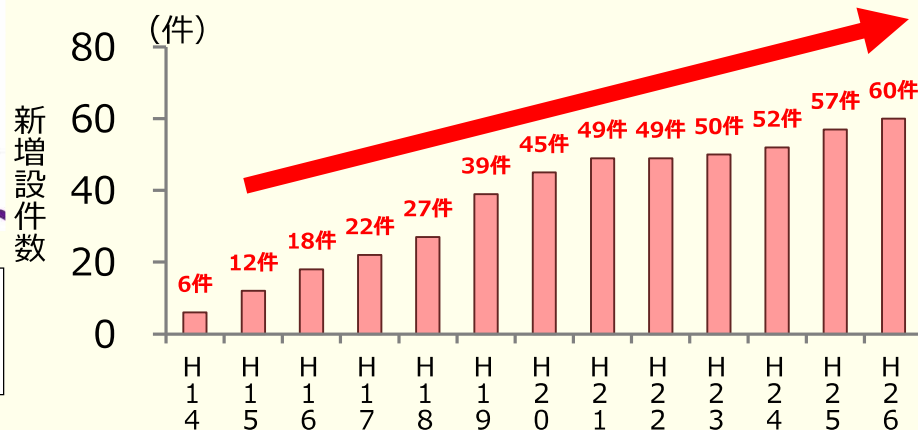
▼福島市西部地区の製造品出荷額の推移

年度	製造品出荷額 (億円)	分担率 (%)
S55	1,156	37%
S60	1,664	40%
H2	2,352	37%
H7	2,827	43%
H12	2,898	41%
H19	3,140	48%
H24	2,911	46%

福島市西部地区；土湯、西、信夫、吉井田、吾妻

▼新設・増設した企業数の推移（福島市）  
（H14からの累積）

企業立地が進み  
平成14年以降  
60社が増新設



## 県内有数のスポーツ施設へのアクセスが向上し、スポーツ交流拡大が期待(スポーツ振興支援)

- 福島市西部にはスポーツ交流施設が集積、各施設で大規模なイベントが開催される県内有数のスポーツ交流拠点
- 東京五輪の野球・ソフトボール競技の誘致を正式表明。サッカー出場チームの合宿誘致を検討。  
⇒福島大笹生 ICの開通のアクセス向上効果により誘致活動を支援



### 十六沼公園

- ・・・スポーツ施設、遊具施設、自然公園からなる総合都市公園
- ・年間利用者数50万人以上(H26)
- ・**五輪サッカー宮城1次予選を想定し、福島での合宿誘致に向け調査検討予定**
- ・J3所属福島ユナイテッドFCの主なトレーニング場所
- ・スポーツ大会や自然イベントを開催

### ふくしまスカイパーク

- ・・・民間試験空域を確保できる国内唯一の離発着場
- ・全日本曲芸飛行協議会などのスカイスportsや地域イベントを開催
- ・研究開発やヘリ訓練の場としても利用  
(航空機会社21社、民間企業8社、航空団体6団体、公共団体10団体以上)

### あづま総合運動公園

- ・・・福島県内の主要なスポーツ施設が立地
- ◆あづま球場
  - ・30,000人収容。独立リーグ所属福島ホープスの主な試合開催球場
  - ・**東京五輪の野球、ソフトボールを誘致を正式表明**
- ◆あづま陸上競技場
  - ・20,000人収容。J3所属福島ユナイテッドFCのホームスタジアム
- ◆あづま総合体育館
  - ・6,000人収容。各種スポーツの県大会やコンサートなどで利用

